

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.14

令和5年 2月28日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

学校評価アンケートについて

(2/25:PTA運営委員会でもお伝えしています)

学校評価アンケート市川市全体結果が公表されました。

下表の数字は、学校教育活動を4つの項目・合計14の設問で肯定的なご意見の割合を%で示し、市内中学校の平均値と八中を比較したものです。

12月結果	市川市	八中	比較
確かな学力	64%	68%	+4
豊かな心	89%	92%	+3
健やかな体	73%	76%	+3
信頼される学校	77%	83%	+6

4つの項目すべてで市内平均を上回り、とくに「信頼される学校」では他を大きく上回った状況です。

この結果は、「八中ブランド力」の強まりと同時に、ご家庭、地域の皆様のご理解とサポートの大きさを示すものであり、あらためて感謝申し上げます。

(6月および12月の学校評価結果は、八中HP特別連絡に掲載しています)

求められる人材

(2/25:PTA運営委員会でもお伝えしています)

経団連(日本経済団体連合会)が、毎年行う調査で「大学生の新卒採用で、企業が選考に当たってとくに重視した点」ランキングが発表されました。

すなわち、「我が社が求めている人材は、こんな力の持ち主」ランキングで、結果は、次の表のとおりです。

1位	主体性	84.0%
2位	チームワーク・リーダーシップ・協調性	76.9%
3位	実行力	48.1%
4位	学び続ける力	36.2%

学校は、人材育成を担う教育機関ですから、行う教育活動は、経団連調査結果の方向性と共通する部分があります。

そのベースとなっているのが、文科省が示す「学習指導要領」です。

昨年度刷新された学習指導要領は、「主体的・対話的・深い学び」を通して、

- ①知識・技能
- ②思考力・判断力・表現力
- ③主体的に学びに向かう力・人間性

以上3つの観点から子どもたちの能力を伸ばそうとするもので八中教育目標「自主・協力・継続」とも重なります。

このことに連動して高校入試問題の傾向も変化し、単純な知識量をはかる問題に加え、示されたいくつかの資料を関連づけて、思考・判断し解答を導き出す問題が目立つようになりました。

八中ブログで、授業の様子をご覧になったときに、このことを思い出していただくと、「なるほど」と感じる場所があると思います。子どもたちは、日々「主体的・対話的・深い学び」を行っています。

次年度のお知らせ

(2/25:PTA運営委員会でもお伝えしています)

(1) 学校だよりNo.13で、お知らせしたところですが、4月から、最終下校時刻を早めに設定することに伴い、放課後の活動時間を確保するための日課プランが、まとまりました。

特別活動および総合的な学習の時間を50分と25分を併用する「モジュール方式」として、放課後の時間を生み出すものです。

このことにより、生徒が家庭で休養したり学習したりする時間を充実させたいと考えています。放課後の活動時間が確保される分、部活動の朝練の時間を放課後にまとめる日を増やすことも可能になります。また、日課変更により、給食開始時間を少し早めることもできました。

(2) 制服改定と並行して、生徒の髪型・身だしなみ等のルール、いわゆる「校則」を今の時代に即したものにアップデートするために、生徒会と教職員で協議を進めてまいりましたが、こちらも概ね整ったところです。

詳しくは、後日お知らせいたします。